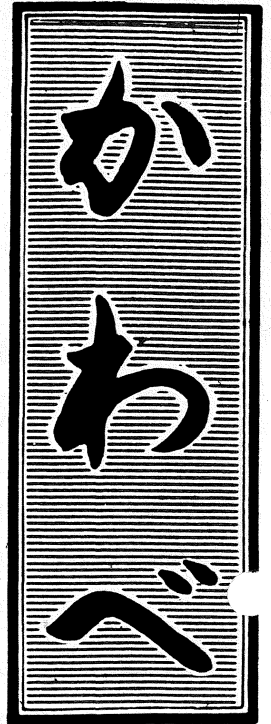


長寿を祝して

九月十五日(金)、今年も村内一ヶ所、河辺中学校体育館において敬老の式典および敬老会が開催されました。今年敬老会は敬老者五百二名にご案内を申し上げ、二百六十一名の出席がありました。このうち八十歳以上の高齢者百八名の方には敬老年金が支給されました。

式典においては、まず十七名の物故者に対して黙禱を捧げた後村長式辞があり、記念品贈呈に移り、まず米寿者は横山の上田ツグヨさん外七名の方々に県知事から木杯、村長からは記念品が贈られ、続いて最高齢者は上大成の富永ヲチエさんで九十九歳になられ、村長から記念品が、また、九十歳以上の方は植松の大野ミサヲさん外十三名にも記念品が、最後に今年六十五歳の方には、社会福祉協議会長より益々のご長寿を祈念して白南天の箸が贈られました。

式終了後は、敬老会に移り、内子高校郷土芸能部による太鼓の演奏に始まり、婦人会及び、ふるさと劇団また、有志の方々の演芸が盛大に催されました。関係者の方々、本当にありがとうございました。



'95 9月

発行

河辺村公民館

☎(0893) 39-2111
内線 205・206

佐川印刷 KK

吉田町北小路
☎(0895) 52-0600

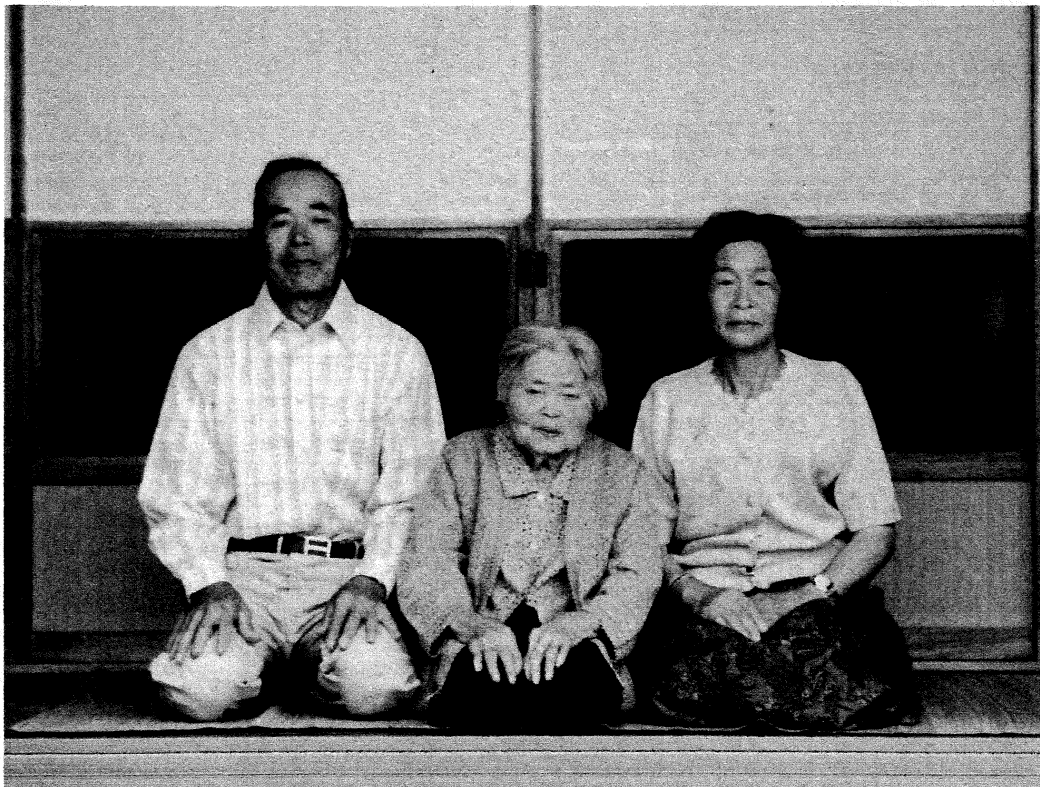
人のうごき

(平成7年9月1日現在)

世帯数	551戸
男子	741人
女子	735人
計	1,494人

H6.9.1現	1,526 (△ 32)
H5.9.1現	1,566 (△ 72)
H4.9.1現	1,641 (△147)
H3.9.1現	1,694 (△200)
H2.9.1現	1,722 (△228)

<最高齢者の上大成の富永ヲチエさんとその家族>



やねばし

趣味をたずねられ「読書」と答える人は多い。足を運ぶたびに新刊書で店頭が賑わう。それでいて活字離れが危惧されると

は、不思議な現象である。目立つのが電話注文だそう。大江健三郎さんは、母親より「ハックルベリー・フィンの冒険」「ニルス・ホーゲルソンの不思議な旅」の二冊の本を与えられたのを機会に、二年間で公民館の書物を全部読み終えた。

母親は、公民館へ出かけ本棚から任意に本を取り出し、内容について質問されたという。答えられないでいると「どういう目的で読むのか、ページ読んですぐ忘れられるなら、それは自分の忘れる能力を訓練するためか」と。それから、本を読み終わるとカードをとるようになったそうである。「読むことは書くと言うこと、書くとは生きること。」

〇〇を与えるもよし、禁ずるもよし、親が思い通りに実行するのが家庭教育だと思ふ。夜も長くなってきました。あなたの趣味は、……。

(大本)

第三回 河辺村議会

定例会終わる

平成七年第三回河辺村議会定例会は、九月二十二日招集されました。まず山本議員、梅木議員、清水議員より一般質問があり、引き続き村長提案の、報告一件、議案五件、認定五件、同意一件が慎重審議のうえ決定されました。

また、中国及びフランスの核実験に抗議し、即時中止を求め、決議についてが、議員提案され、全会一致で決議されました。

議決されました一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に各々一六四、六〇九千円が追加され、歳入歳出各々二、二一八、八一三千円となりました。

補正予算の主なものは、
総務費

患者輸送車購入 七、五〇〇千円
村営無償バス購入 五、〇〇〇千円
民生費

金婚式記念式典経費一、〇〇〇千円
高齢者住宅整備事業 六〇〇千円
衛生費

村民の健康データバンク事業
一、九〇六千円
土木費

各会計の財政収支の状況

単位：円

会計別	歳入額	歳出額	差引残額
一般会計	2,255,149,101	2,176,994,107	78,154,994
国民健康保険事業	172,814,652	163,914,529	8,900,123
国民健康保険施設	115,395,696	115,251,073	144,623
老人保健	225,351,416	219,874,849	5,476,567
簡易水道事業	20,843,650	20,511,612	332,038

一般会計歳入歳出の決算状況

単位：円

款	収入済額	対収入合計%	款	支出済額	対歳出合計%
村税	54,365,890	2.4	議会費	49,891,133	2.3
地方譲与税	32,675,000	1.4	総務費	472,838,414	21.7
利子割交付金	3,206,000	0.1	民生費	123,945,623	5.7
自動車取得税交付金	18,719,000	0.8	衛生費	49,366,882	2.3
地方交付税	1,263,242,000	56.0	農林業費	295,845,569	13.6
分担金及び負担金	19,857,727	0.9	商工費	3,048,586	0.1
使用料及び手数料	9,260,867	0.4	土木費	334,780,909	15.4
国庫支出金	240,834,837	10.8	消防費	37,557,525	1.7
県支出金	223,527,995	9.9	教育費	204,912,032	9.4
財産収入	13,552,856	0.6	災害復旧費	193,095,500	8.9
繰入金	111,658,000	5.0	公債費	411,711,934	18.9
繰越金	57,751,132	2.6			
諸収入	7,697,797	0.3			
村債	198,800,000	8.8			
歳入合計	2,255,149,101	100.0	歳出合計	2,176,994,107	100.0

県道改良舗装負担金 一〇、八〇〇千円
教育費
高森福祉整備事業 二、〇〇〇千円
災害復旧費
農地農業用施設 三、八八二千円
道路橋梁河川 八五、八六〇千円
などが補正されました。
平成六年度河辺村各会計の決算は、賛成多数で認定されました。バブル崩壊に伴い、長期化する不況により一段と厳しい中で、懸命に豊かな村

造りに取り組んで参った決算であり、その概要は次のとおりです。

基金の状況

単位：円

区分	前年度末現在高	年度中増減額	年度末現在高
一般会計財政調整基金	315,249,000		315,249,000
国保事業勘定財調基金	9,445,000	2,500,000	11,945,000
土地開発基金	64,000,000		64,000,000
減債基金	27,405,000	△4,533,000	22,872,000
ふるさと基金	117,505,000	7,372,000	124,877,000
地域福祉基金	97,870,000		97,870,000
国民年金印紙購入基金	4,400,000		4,400,000
修学制保護者貸付金	23,780,000	1,620,000	25,400,000
農林業振興資金基金	30,000,000		30,000,000
ふるさと・水と土保全基金	6,000,000	110,000	6,110,000
合計	695,654,000	7,069,000	702,723,000

また、当日は人事案件として「教育委員の任命につき同意を求めることについて」が提案され、本田八千代女史（四十九歳）
北平
新人を教育委員に任命することに満場一致で同意がなされました。

翔け/ヤングパワー

平成七年度の成人式が、八月十四日に基幹集落センターで行われました。今年の新成人は、昭和五十年四月二日（昭和五十一年四月一日生まれ）の男子十一名、女子十二名で、そのうち出席者は十五名でした。
成人者の皆さん、成人式を迎え、自分なりに決意したことがあると思います。今の気持ちを大切に、夢の実現に向かって、ヤングパワーで頑張ってください。



～夢に向かって翔け～

ふるさと祭り

大盛況

恒例になった夏のイベント「ふるさと祭り」が八月十四日、ふるさと公園において催され、帰省された人々と共に、村民が一体となり、にぎわいを見せた一日でした。

午後四時から夜市とカラオケ大会予選がスタートし、二十五名の出場者が各々自慢の歌を熱唱され、五名の方が決選大会に進まりました。

プロ歌手の星奈々さんと手柄ますみさんの審査するなか、堂々と五名の方が歌唱力を競い合った結果、大洲市在住の藤井知子さんが「飢餓海峡」を歌われて、見事最優秀



～熱唱されました～

に輝きました。

納涼盆おどり大会は、谷間にこだました太鼓の音に合わせて扇子おどり、里帰り客と共に輪になって盛況だった河辺音頭で祭り気分は最高潮。続いては、歌謡ショーで、テレビでお馴染みの星奈々さん、手柄ますみさんの歌声にうっとり。

祭りのフィナーレは、何ととっても河辺の花火。山々にこだまし。腹の底にズシリと響くあの音は、今でも忘れられません。終日、雨が降ったり、止んだりの繰り返しで、天気ははっきりとしない一日でしたが、無事、滞りなく終了できました。ありがとうございました。尚、カラオケ大会の入賞者は次のとおりです。

- 最優秀賞 藤井 知子 (大洲市)
- 優秀賞 麓 八千代 (松山市)
- 熱演賞 清水 照義 (大洲市)
- 久保 政善 (大洲市)
- 森岡 千景 (肱川町)

龍馬ファン再び!!

龍馬は脱藩して大きくなった!!

平成七年九月十日(日)。今にも泣きだしそうな曇り空のもと、県内はもとより、大阪、京都、高知から集まった坂本龍馬ファン二百十名の方々は、出立式の開会を今や遅しと待っていた。

予定より十五分遅れで始まった開会式では、今年の龍馬役の鈴木博(松山市水道局)・武智仁(タケチヒトミ、松山水道局)二名の方の紹介が行われ、昨年続き、女性龍馬が誕生した。又、今回参加者の最高齢者(石水芳太・八十三歳)による完全踏破宣誓をして頂き、その後、Aコース参加者百四十名がマイクロバス五台、キャラバン一台、ライトバン一台に分乗して出発地点・榎ヶ峠へと出発した。

今年のコースは、昨年まで歩いていた水ヶ峠～泉ヶ峠の間を本来の脱藩の道である山道を歩いてもらおうと二路線約一・八キロメートルを新たに整備し、より一層、趣の深いものとする事ができました。

イベントの終盤にさしかかり、大半の参加者が公園に帰り着いた頃、とうとう大きめの雨粒が落ち始め、泉ヶ峠付近を歩いていた一部の参加者の方々は、幸か不幸か脱藩の道初の雨に遭遇した。その雨も短期間で止み、今年のわらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道も無事幕を閉じた。今回のイベントに協力して頂いた方々

には厚くお礼申し上げますと共に、来年もよろしくお願ひ致します。



～ああ、しんど!～

県営住宅大洲東団地入居者募集

1. 募集対象建物概要

団地名	所在地	種別	構造	型別	家賃	戸数	備考
大洲東団地	大洲市 東大洲	2	中層耐火 3階建	3DK	38,000円	30	家賃の他に 共益費が必要 です。

2. 申込受付期間

平成7年10月16日(月)～10月20日(金) 8:30～17:00

3. 申込書受付場所及び問い合わせ先

愛媛県大洲庁舎建設部建築指導課
大洲市田口甲425番地1 ☎(0893)24-5121

4. 抽選日時

平成7年11月15日(水) 午後1時30分
(於)愛媛県大洲庁舎3階会議室

5. 入居予定日

平成7年12月15日(金)

スポレク 郡大会

愛媛スポレク祭'95喜多郡大会が、九月三日五十崎町で開催されました。あいにく、雨天のため、ソフトボールが十日に延期となったものの、河辺からは、バレーボール男子、バレーボール婦人一部、ソフトボール、バドミントンの男・女が出場しました。この大会で、バドミントン女子が、二位になりました。

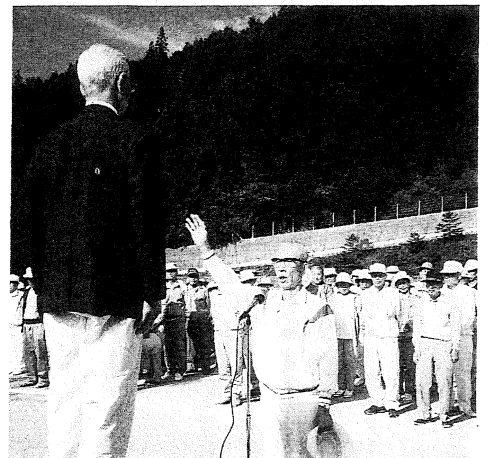
また、九月十九日長浜町において、管内大会の軽スポーツの部が行われ、本村からはクロッケーとインディアカが出場しました。インディアカについては悔くも2敗してしまいました。クロッケーについては、植松クラブが一般の部で二位になりました。植松クラブは、十一月五日に行われる県大会に出場します。

郡老連クロッケー大会

九月二十日河辺中学校グラウンドにおいて、喜多郡老人クラブ連合会のクロッケー大会が行われました。

はじめに、開会式があり、来賓として来られた大野村長より各町村の選手全員に暖かい励ましの言葉がありました。開会式終了後、三十二チームが参加して、予選リーグが繰り広げられました。試合結果は次のとおりです。

- 優勝 五十崎Aチーム
- 準優勝 程内チーム
- 第三位 大和チーム



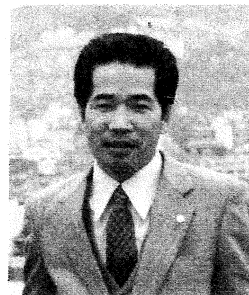
～がんばることを誓います～

三輪式 電動車椅子を ご利用の 皆さんへ

三輪式電動車椅子をご利用の皆さん、道路を通行する場合同、道路交通法で歩行者と同じ右側通行と定められていますので、しっかりとルールを守り、気をつけて運転するよう心がけましょう。

この夏、里帰りして、先祖の墓参りし、ふるさとの山河を駆け巡り、又、なつかしい人との出逢い「一期一会」人と

人との出逢いにより、私は、長年、ふるさとを離れているため、河辺のことを知る機会があまりありませんでした。このたび、公民館のおかげで、沢山の河辺村の新聞を送って頂き、最近の河辺の事情を知ることができました。そして、河辺村の人々の力により、見事に道路が抜け、様々な発展



ふるさとに望む

広島県福山市
中山 将
(熊の坂出身)

「坂本龍馬脱藩の道」を歩いて、とても感動と喜びを覚えまして。

そして、私がいつも思っていることは、こんな素晴らしい景色のある河辺村を一目で見渡すことのできる展望台があればと思っております。

最後に、よりもっと河辺が発展することを心より願っています。

診療所だより

松山空港の国際線開設に伴い、海外旅行者も増加し、海外が一層身近に感じられるようになりました。家族や職場などで海外旅行に出かける機会も増えることと思います。

現地では体調を崩し、帰国の際、検疫所で検査を受ける人もいます。上下水道などの整備されていない国へ旅行する場合は、生水は飲まないように、生物生焼けのものは、できるだけ食べないようにするなど食生活には十分注意して下さい。

☆感染症情報

手足口病が今夏流行していましたが、減少しています。○夏かぜ症候群：三〜五日間、熱の持続する例が増加しています。

○嘔吐下痢症：横ばい状態。日本脳炎の発生は現在のところありませんが、日本脳炎は後遺症が残る場合も多い病気です。健康管理に努めるとともに、蚊に刺されないように気をつけて下さい。

☆乳幼児のやけどを予防するポイント

①乳幼児が一人でお風呂場に

- 入らないようにする。浴槽のフタは、しっかりとしたものを選ぶ。(水事故防止)
- ②ポットは安定性のあるもので、倒れてもお湯が流れ出ないものを選ぶ。乳幼児の手の届く所に置かない。
- ③カップラーメンは乳幼児の見ていない所で作り、容器は手の届かない所に置く。
- ④炊飯器も熱い湯気がやけどの原因になるので、乳幼児の手の届かない所に置く。
- ⑤電気のプラグを差し込んだままにしておかない。通電したプラグを乳幼児がなめたまわし、唇に深いやけどを負う事故が意外に多い。

☆「手当て」人は身体に傷害を受けた時、痛みや不快感を感じた時に本能的にその部分に手を当てます。この無意識のうちにいう行為を他者が代わりに行うことが手当てであり、医療行為の始まりです。手を患部に当てることは、異常を探したり、痛みを除く治療行為であり、患者に心の平安を与える癒しの技にもなります。

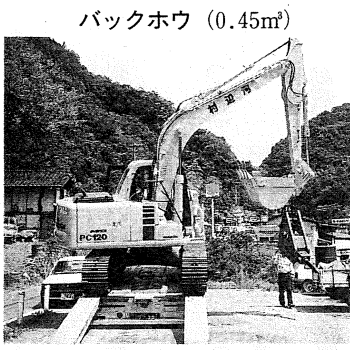
ご存じですか 認定農業者制度

ウルグアイ・ラウンド農業合意による新たな国際環境と近年の農業の担い手不足に対処するため、農業経営基盤強化促進法が平成五年八月に施行され、総合的な農業制度、施策の見直しと再構築を打ち出しました。

本村では同法に基づき、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な経営体の育成を図るため、魅力ある農業経営の目標を示した農業経営基盤強化促進基本構想を策定し、同構想

農林業基盤整備用 機械購入

平成七年度山村振興等農林漁業特別対策事業により、村直営工用重機のバックホウ(〇・四五m)を、また森林組合が事業主体となり、林内作業車道開設用重機の小型バックホウ(〇・一〇m)と自動



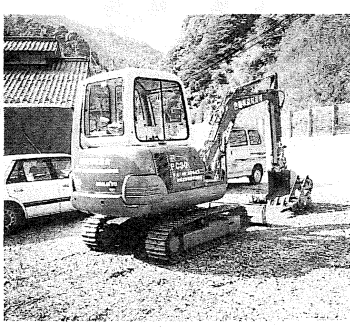
バックホウ (0.45m³)

にすべく認定農業者制度をスタートしました。

この制度は、自らの創意工夫により農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者を村が将来に向け、農業経営の担い手として認定し、これらの認定農業者に対して、村、農業委員会、農協、普及センター等が一丸となって、支援をしていこうというものです。

経営規模の拡大、集約化、複合化など、魅力ある農業経営を目指している皆さん、役場地域振興課までお気軽にご相談下さい。

枝打機を二台購入しました。総事業費は千八百四十三万円、そのうち四五%が国庫補助金となっております。農林業基盤整備のため、この機械を有効に活用して農林業の機械化を図りたいと思います。なお、自動枝打機の利用については、森林組合へお問い合わせください。



小型バックホウ (0.10m³)

イベント情報

◆健康文化フェスティバル
十月二十八日(土)

◆基幹集落センター
☆健康づくり講演会
講師 三遊亭円窓先生

☆文化協会発表会
☆健康家庭表彰

☆お楽しみ抽選会
☆青空市

☆婦人会バザー
☆もちまき

◎老人福祉センター
☆幼・小・中・一般作品展

☆骨量測定・体脂肪測定
☆影浦先生による歯科検診

☆ヘルシー献立展
☆健康器具展

◎集出荷場
☆農林物産展

☆農林機具即売会

◆河辺人權のつどい
十一月八日(水)

場 所 河辺中学校
☆公開授業

☆身元調査お断りステッカーのデザイン入賞者表彰

☆意見(作文)発表
☆人権標語発表

☆講話及び手話落語

肱川流域フォトコンテスト

肱川流域(大洲・喜多郡)の豊かな自然・景観を撮影した写真を募集中です。

Ⅱ 応募要領 Ⅱ

● 応募方法 ① 作品名 ② 氏名 ③ 住所

④ 電話番号 ⑤ 撮影場所、年月日 ⑥ 作品のコメントを記入のうえ、ご送付下さい。

● 受付期間 平成七年十月一日から十一月三十日

● 作品・サイズは四切、ワイド四切。白黒、カラー

いづれも可。写真枚数は一人五枚まで。

● テーマ「肱川流域の自然・景観」

● 発表 平成八年一月

● 表彰

- ・一席一点 賞金 五万円
- ・二席二点 賞金各二万円
- ・三席三点 賞金各一万円
- ・入賞五点 賞金各五千元
- ・佳作 数点 記念品

● 応募先(お問い合わせ)

〒七七九五 大洲市大洲六九〇番地の一 大洲市役所企画調整課内肱川流域開発促進協議会事務局肱川流域フォトコンテスト係まで。

児童手当 特別児童扶養手当

児童手当は、児童を養育している人に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的としています。

又、支給の対象は三歳未満の児童を養育している人です。第一子、第二子は月額五千円、第三子以降は月額一万円です。

児童扶養手当は、父親と生活が同一でない児童が育成される家庭生活の安定と自立を促進するため、児童扶養手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図ることを目的としています。

特別児童扶養手当は精神又は、身体に障害を有する児童について手当を支給することにより、障害児の福祉の増進を図ることを目的としています。

詳しくお知りになりたい方は、お気軽に役場福祉課までご連絡下さい。

短

歌

秋雨にさるすべり散る庭隅は

薄紅色のやさしき裾しほり

谷本 愛子

つぎて来し杖で茶の葉の露払い

朝霧の畑に茶を摘まんとす

本田ミネ子

絶滅をせしと思ひし雀鷹

吾が尺前を矢の如く翔ぶ

増本喜久男

雨ごとに緑色増す森見れば

老いし吾等も生きいきとする

国井ミネヲ

台風の被害なき今朝は恵みの雨に

芽生えし野菜畑めぐり見てあり 上林ヨシ子

消息

自 7.7.11 至 7.9.10

☆お誕生おめでとう

山本 翔 天神 父和明 母秀美

☆末ながくお幸せに

(日野 裕昭(日除)

(徳見 和子(川崎)

☆おくやみ申し上げます

新田ウタノ (横山) 95才

大野 誠 (植松) 33才

新田宗太郎 (横山) 100才

渡邊 義照 (坂本) 76才

二宮キクエ (植松) 80才

同和教育シリーズ (53)

同和对策基本法

(仮称)案とは

「同対審」答申が出されて以降、二十数年間をふり返つてみて、得られた三番目の成果としては、部落問題解決に取り組む人々の輪が広がってきているという点です。特に注目すべき点は、民間の企業や宗教者、更に大学の関係者にまで、その輪の広がりをみせていることです。

題企業連絡会(宗教者では「同和問題に取り組む宗教教団連帯会議」)大学では「全国大学同和教育研究協議会」等です。また、「基本法」中央実行委員会の会長は、浄土真宗本願寺派大谷光真門主と曹洞宗宮崎変保管長であり、日本労働組合総連合会が、この「基本法」中央実行委員に参加しています。成果の第四点目は、部落問題解決に向けた諸施策がいわば「突破口」となつて一切の差別撤廃に向けた気運が大きく高まってきているということです。

例えば、現在、日本には千百の大学が存在していますが、そのうち三百五(二十七・七パーセント)で、部落問題に関する何らかの講義が開設されていますが、一度、大学において部落問題に関する講義が開設されると、これが「突破口」となつて、民族差別の問題や障害者差別の問題、更には、女性差別の問題に関する講義を開設する大学が徐々に増えてきているという状況になっています。(河辺村同和教育協議会)